

野田容助・黒子正人・吉野久生 編『貿易関連指数による国際比較と分析』調査研究報告書 開発研究センター2007-II-03 アジア経済研究所 2008 年

第2章

台湾貿易データにおける UN 化準拠の方法 ー商品分類を HS1988 年度版とした時系列データ作成ー

海老原悦夫・野田容助

要約

台湾貿易データの UN 化準拠の方法については海老原・野田の「台湾貿易データにおける UN 貿易データの準拠の試み」に概要が示されているが、その長期時系列貿易データの利用は SITC-R1 に限られ、数量も重量数量のみを対象としている。しかも、台湾貿易データをアジア経済研究所世界貿易データシステム (AID-XT) の基礎データを経由して UN 化している。本章は海老原・野田の方法を 1989 年から 2005 年までの HS 各系列に適用して HS1988 年度版による時系列貿易データと 2 種類の数量の作成を可能にしている。また、本章では AID-XT 基礎データを経由せずに直接変換する方法を採用している。

キーワード

台湾貿易データ、UN Comtrade Database 貿易データ、HS 各商品分類

はじめに

アジア経済研究所では国連 (UN) 作成の貿易データである UN Comtrade Database 貿易データとして報告されなくなった 1971 年以降の台湾貿易データを当研究所独自の作成方法により UN Comtrade Database 貿易データに準拠した形式および内容に変換し、

国際比較可能なアジア経済研究所世界貿易データシステム（Ajiken Indicators of Developing Economies: eXtended for Trade statistics : AID-XT）の基礎データとして作成し利用している。台湾貿易データの UN 準拠の方法については海老原・野田の「台湾貿易データにおける UN 貿易データの準拠の試み」において、商品分類を SITC-R1 とする長期時系列貿易データ作成の方法として概要が示されている。本章の目的はこの海老原・野田（2007）の方法に対して商品分類が HS1988 年度版による時系列貿易データの作成を可能にする方法を示し、しかも台湾貿易データを直接的に UN Comtrade Database 貿易データへ準じた内容と書式へ変換することである。というのは、アジア経済研究所ではこれまで台湾貿易データを AID-XT 基礎データに変換して国際比較に供していたが、最近では UN Comtrade Database 貿易データが on-line 検索により手軽にしかも安価で利用できるようになったのに伴って、台湾貿易データを UN に準拠することで UN Comtrade Database 貿易データとして国際比較する必要が生じてきたからである。

本章は台湾貿易データを UN Comtrade Database 貿易データに準拠するために必要な分類カテゴリーの変換のための対応関係、変換のためのデータ処理を中心として、台湾貿易データの構成と特徴、UN 化準拠のための分類カテゴリーの対応関係、UN に準拠した貿易データ作成を内容としている。

1. 台湾貿易データの構成と特徴

台湾貿易統計において詳細な商品分類で報告されている貿易統計書は台湾財政部關稅總局統計室（Statistical Department Directorate General of Customs Ministry of Finance, The Republic of China）の発行する台湾貿易統計年報「中國進出口貿易統計年刊（臺灣區）」（*The Trade of China, Taiwan District*）および台湾貿易統計月報「中華民國臺灣地區出口貿易統計月報」*Monthly Statistics of Exports, The Republic of China, Taiwan District*）と「中華民國臺灣地區進口貿易統計月報」（*Monthly Statistics of Imports, The Republic of China, Taiwan District*）がある。アジア経済研究所では上記機関から貿易統計月報 12 月と同一内容を含む磁気媒体による貿易データを入手しており、この貿易データはアジア経済研究所の独自の方法により商品分類、相手国のコードおよび取引額表示など UN Comtrade Database 貿易データに準拠した内容と形式に変換されている。磁気媒体による台湾貿易統計を台湾貿易データと呼び、貿易統計月報や統計年鑑から得られた貿易統計値とは区別して表記する。

台湾の Directorate General of Budget, Accounting and Statistics Executive Yuan, Republic of China 発行による台湾統計年鑑 (*Statistical Yearbook of the Republic of China*) の 2006 年度版によれば、2006 年 1 月から台湾貿易統計の作成については UN の International Merchandise Trade Statistics Compiler's Manual, 2004 を採用していると記載されている。同統計年鑑において 2005 年度版以前では輸出については Commerce and External trade の Export by regions and countries (areas) の total において Gross の輸出と Net の輸出、同じように輸入については Commerce and External trade の Import by regions and countries (areas) の total において Gross の輸入と Net の輸入が記載されている。ところが、同年鑑の 2006 年度版ではその記載内容が変更になり、UN の方式に合わせて輸出は輸出と再輸出の合計と再輸出、輸入についても同じように輸入は輸入と再輸入の合計と再輸入がそれぞれ掲載されている。さらに、同 2006 年度版には UN の方式に置き換えた輸出入が 2005 年から 1991 年まで遡戻って変更されている。

台湾貿易データにおいて計上されている輸出入貨物の価額表示は輸出は本船甲板渡し (Free on Board: FOB)、輸入は運賃保険料渡し (Cost, Insurance and Freight: CIF) である。輸出入区分は輸出、再輸出、輸入、再輸入と 4 種類に分かれており、しかも 2006 年から UN 方式を採用したことによる 2005 年以前のものと 2006 年以降では輸出入の定義が異なるため、貿易データの利用に際しては十分な注意が必要となる。表 2.1 に台湾貿易データにおいて従来から用いられてきた Gross 表記と新たに採用された UN 方式による輸入総額の違いが示されている。Gross 表記による輸入額を inp^G 、UN 方式による輸入額を inp^U 、統計年鑑の 2006 年度版に記載されている輸入額を inp^{06} とする。また、磁気媒体としての台湾貿易データから得られる輸入と再輸入額をそれぞれ imp と re_imp とする。統計年鑑の輸入額の inp^{06} を基準としたときの inp^U との差を a として、

$$(1-1) \quad a = inp^U - inp^{06}$$

とする。ここで、 $inp^U = imp + re_imp$ であり、台湾貿易データから求められる。表 2.1 に UN 方式の inp^U と貿易統計書 2006 年度版表記 (inp^{06}) の違いが示されている。また、この表において改訂前と改訂後の 2 種類が示されているが、改定については暫定的に公表された統計値が後になって正しい統計値として確定されたことを表わし、前者を改訂前、後者を改訂後という。改定については 1989 年と 1992 年におこなわれているが、そのことについては後述する。改訂前の a において 1989 年から 1990 年までの期間は 0 ではなく、改訂された 1992 年を除けば 1991 年以降は 0 になっている。このことは、統計年鑑 2006 年度版に記載されている輸入総額の 1989 年と 1990 年は

表 2.1 台湾貿易データの輸入における *Gross* と貿易統計書表記 (imp^{06}) の違い

y	$imp.$	$re-imp.$	imp^U	imp^{06}	imp^G	a	b
(改訂前)							
1989	1385273	1303	1386576	1385720	1385273	856	-0
1990	1471804	1885	1473689	1471803	1471804	1886	-0
1991	1690773	7562	1698335	1698335	1690773	0	-0
1992	1816294	8724	1825018	1825784	1816294	-766	0
1993	2034747	8748	2043494	2043494	2034747	0	-0
1994	2261650	9244	2270895	2270895	2261650	-0	0
1995	2742850	12244	2755094	2755094	2742850	0	0
1996	2815119	15189	2830309	2830309	2815119	-0	0
1997	3276094	15100	3291194	3291194	3276094	0	0
1998	3503569	18939	3522508	3522508	3503569	0	-0
1999	3576415	16373	3592788	3592789	3576415	-1	0
2000	4368696	22531	4391227	4391226	4368696	1	-0
2001	3619430	24752	3644182	3644181	3619430	1	-0
2002	3893681	24734	3918415	3918415	3893681	-0	-0
2003	4383723	26255	4409978	4409978	4383723	-0	-0
2004	5627586	29085	5656671	5656672	5627586	-1	0
2005	5844591	32574	5877164	5877163	5844591	1	-0
2006	6568410	35926	6604337	6604337	.	-0	.
(改訂後)							
1989	1385273	1303	1386576	1385720	1385719	856	-446
1992	1816294	8724	1825018	1825784	1817060	-766	-766

(出所) Directorate General of Budget, Accounting and Statistics Executive Yuan, Republic of china 発行による台湾貿易統計年鑑 (*Statistical Yearbook of the Republic of China*) の中の Commerce and External trade から、Import by regions and countries (areas) の total にもとづき著者作成。

(注) 単位は 1,000,000New Taiwan \$である。台湾統計年鑑の 2006 年には *Gross* の表記は存在しないので欠損値として . で表わしている。 $a = imp^U - imp^{06}$ 、 $b = imp. - imp^G$ である。

UN 方式とは一致していないが、1992 年を除いて 1991 年から 2006 年までについては確かにこの方式を採用して遡戻って変更されたことを示している。

Gross の輸入額の imp^G を基準としたときの $imp.$ との差を b として、

$$(1-2) \quad b = imp. - imp^G$$

とする。表 2.1 によれば、改訂前の b において 1989 年から 2005 年までの期間はすべて 0 である。このことは、磁気媒体として得られる台湾貿易データの輸入総額は 2005 年以前は *Gross* 表記であることがわかる。台湾統計年鑑の 2006 年には *Gross* の表記は存在しないので欠損値として . で表わされている。

表 2.1 において改訂前というのは、磁気媒体の台湾貿易データが得られた後に台湾

表 2.2 台湾貿易データの輸出における *Gross* と貿易統計書表記 (*imp*⁰⁶) の違い

<i>y</i>	<i>exp.</i>	<i>re-exp.</i>	<i>exp</i> ^U	<i>exp</i> ⁰⁶	<i>exp</i> ^G	<i>a</i>	<i>b</i>
(改訂前)							
1989	1745104	3426	1748530	1747800	1745104	730	0
1990	1802781	5637	1808418	1802783	1802781	5635	0
1991	2040785	10264	2051049	2051049	2040785	-0	-0
1992	2047962	16391	2064353	2064353	2047962	0	-0
1993	2234351	22598	2256949	2261835	2234351	-4886	0
1994	2456011	33022	2489032	2489032	2456011	0	-0
1995	2949580	44595	2994175	2994175	2949580	-0	-0
1996	3176624	44909	3221533	3221533	3176624	0	0
1997	3481685	59805	3541490	3541490	3481685	-0	0
1998	3693269	67205	3760473	3706473	3693269	54000	-0
1999	3917446	68928	3986374	3986374	3917446	-0	0
2000	4616301	112983	4729285	4729286	4616301	-1	0
2001	4137742	116542	4254284	4254285	4137742	-1	0
2002	4507506	162898	4670404	4670404	4507506	-0	0
2003	4952476	220483	5172959	5172958	4952476	1	-0
2004	5817800	279436	6097236	6097235	5817800	1	0
2005	6084208	290286	6374494	6374496	6084208	-2	0
2006	6926599	352721	7279319	7279318	.	1	.
(改訂後)							
1989	1745104	3426	1748530	1747800	1747799	730	-2695
1993	2234351	22598	2256949	2261835	2239032	-4886	-4681
(間違い)							
1998	3693269	67205	3760473	3760473	3693269	0	-0

(出所) 表 1 に同じ。ただし、その輸出の部分である。

貿易統計月報に改訂があったために台湾貿易データと月報の輸入総額に違いがあることを意味している。磁気媒体として得られた *imp* は改訂の前後で同一であり、この表において 1989 年の貿易データの輸入総額は 1,385,273 (百万 New Taiwan \$) である。Gross 表記の *imp*^G については改定がおこなわれており、1989 年の輸入総額は 1,385,273 であったのが、1991 年に改訂されて 1,385,719 となっている。アジア経済研究所では貿易統計月報の統計値に更新があったからといって新たに磁気媒体の貿易データを再度購入して輸入総額を統計年鑑のそれに一致させることはおこなっていない。そのため、改訂前には *imp* と一致していた *imp*^G は改訂後には一致しなくなる。したがって、台湾貿易データを使用するときには改訂年についてはそこから得られた値と貿易統計月報の値とは必ずしも一致するとは限らないことを頭に入れておく必要がある。1993 年にも Gross 表記の改訂があり、1992 年における改訂前の輸入総額のそれは

表 2.3 台湾貿易データにおける 1,000NewTaiwan\$から 1,000US\$への変換レート

y	1,000NT\$	import 1,000US\$	ratio	1,000NT\$	export 1,000US\$	ratio
1989	1385272906	52265326	26. 50474	1745104214	66303952	26. 31976
1990	1471803505	54716004	25. 91628	1802781059	67214446	26. 82133
1991	1690772977	62860545	26. 89721	2040784970	76178309	26. 78958
1992	1816294219	72006794	25. 22393	2047961998	81470250	25. 13754
1993	2034746748	77061203	26. 40430	2234350533	85091458	26. 25822
1994	2261650459	85349194	26. 49879	2456010977	93048783	26. 39487
1995	2742850423	103550044	26. 48826	2949579951	111658800	26. 41601
1996	2815119319	102370021	27. 49945	3176624196	115942064	27. 39838
1997	3276094156	114424665	28. 63101	3481685084	122080673	28. 51954
1998	3503568890	104665312	33. 47402	3693268791	110582293	33. 39837
1999	3576415487	110689863	32. 31023	3917446187	121590945	32. 21824
2000	4368695887	140010636	31. 20260	4616301200	148320561	31. 12381
2001	3619429516	107237394	33. 75156	4137742390	122866261	33. 67680
2002	3893680914	112530093	34. 60124	4507506099	130596781	34. 51468
2003	4383722834	127248508	34. 44996	4952475993	144179522	34. 34926
2004	5627586457	167889814	33. 51951	5817800332	174014163	33. 43294
2005*	5877164292	182614393	32. 18353	6374493858	198431654	32. 12601
2006*	6604336706	202698135	32. 58213	7279319454	224017271	32. 49446

(出所) Directorate General of Budget, Accounting and Statistics Executive Yuan, Republic of china 発行による *Statistical Yearbook of the Republic of China* の中の Commerce and External trade から、輸入は Import by regions and countries (areas) の total、輸出は Export by regions and countries (areas) の total、にもとづき著者作成。

(注) 1,000NT\$は NewTaiwan\$を単位とする取引総額、1,000US\$は 1,000US\$を単位とする取引総額であり、ratio は変換レートを表わす。*は UN 方式、それ以外は Gross 表記である。

表 2.4 台湾統計年鑑に記載されている *M of NT\$* と *M of US\$* の輸出入額

y	M of NT\$	import M of US\$	ratio	M of NT\$	export M of US\$	ratio
1989	1385720	52265		1744800	66304	26. 31976
1990	1471803	54716	25. 91628	1802783	67214	26. 82133
1991*	1698335	63142	26. 89721	2051049	76563	26. 78958
:						
2004*	5656672	168758	33. 51951	6097235	182370	33. 43294
2005*	5877163	182614	32. 18353	6374496	198432	32. 12601
2006*	6604337	202698	32. 58213	7279318	224017	32. 49446

(出所) Directorate General of Budget, Accounting and Statistics Executive Yuan, Republic of china 発行による *Statistical Yearbook of the Republic of China* の中の Commerce and External trade から、Table 119 Value of external trade にもとづき著者作成。

(注) *M* は Million を表わし、*は UN 方式、それ以外は Gross 表記である。

1,816,294 であったのが 1993 年に改訂されて 1,817,060 となっている。1991 年以降は imp^{06} は UN 方式を採用しているのもので imp^G の 1,817,060 に再輸入の 8,724 を加えて imp^U を計算すれば 1,825,784 となり、 imp^{06} と一致することが確かめられる。

輸出についても同様の結果となる。表 2.2 において輸出の表記は輸入の表記における imp を exp と置き換えることで得られる。統計年鑑に記載されている輸出額の 1989 年と 1990 年は UN 方式とは一致していないが、2005 年から 1991 年までについては確かにこの方式を採用して遡戻って変更されたことを示している。台湾貿易データの輸出は 2005 年以前は Gross 表記であることがわかる。輸出についても改訂がおこなわれており、1989 年の輸出総額は 1991 年、1993 年のそれは 1994 年に改訂されている。1998 年については改訂がおこなわれていないのに本来一致するはずの exp^U と exp^{06} は一致していない。この輸出総額の違いは統計年鑑が間違いで 3706473 ではなく 3760473 であると考えられる。前者の 06 と後者の 60 の単なる転記ミスと想定される。

台湾貿易データの商品分類は関税協力理事会 (Customs Cooperation Council) 作成の Harmonized Commodity Description and Coding System (HS) を基礎として作成された Customs Imports Tariff of Republic of China (CCC) である。CCC は 11 桁レベル分類コードで構成されその先頭の 6 桁レベルまでは HS に準拠しており、残りの桁は台湾独自の分類コードである。台湾貿易統計月報には HS の改訂版が明記されていないため、第 2 節の方法によりそれを確定している。

貨物の国別分類である相手国は地域の範囲としては国・関税地域と世界計のみをカバーしており、地域ブロック、経済ブロックは存在しない。磁気媒体のデータとして得られた 1986 年以降の貿易統計データでは相手国コードは 3 桁の数字で表示され、さらに、1993 年以降になると ISO の 2 桁レベルのアルファベット表示と 3 桁の数字の併記で表されるように変更されている。

台湾貿易データの取引額表示は現地通貨である NewTaiwan\$ を用いて表わされている。現地通貨の表示を UN Comtrade Database 貿易データで用いられる US\$ に変換する輸出入別の為替レートは表 2.3 に示されている。この為替レートは台湾統計年鑑 (Statistical Yearbook of the Republic of China) にある Commerce and External trade を参照して 1,000New Taiwan \$ と 1,000US\$ の値を直接利用している。前述したように統計年鑑の 2006 年度から貿易データの作成方式が変更になったため、輸出入総額の定義が厄介になっている。同統計年鑑 2006 年度版の同箇所にある Table 119 の Value of external trade には輸出入総額が Million of US\$ (M of US\$) と Million of NT\$ (M of NT\$) が併記して記載されている。この一部を抜き出したのが表 2.4 である。表 2.4 の *import* の

M of NT\$と表 2.1 の imp^G あるいは imp^U が対応する。1989 年から 2004 年までは M of NT\$は imp^G と一致し、2005 年以降は imp^U に一致している。すなわち、1989 年から 2004 年までは Gross 表示、2005 年以降は UN 方式で変換レートは変換する必要がある。

2. UN 化準拠のための分類カテゴリーの対応関係

本節では台湾貿易データを UN Comtrade Database 貿易データに準拠するために必要とされる両者の分類カテゴリーの対応関係の作成を示す。分類カテゴリーの中で商品分類については HS1988 年度版に統一するための対応関係、相手国となる国コードと数量単位の対応関係が対象となる。

2.1 HS1988 年度へ統一のための対応表

台湾貿易データの基礎となっている台湾貿易統計書の月報には HS の改訂版の版番号は明示的に説明されていないため、HS については改訂版を特定化する必要がある。アジア経済研究所では HS1988, HS1996, HS2002 の商品分類コードをそれぞれの台湾の商品分類コードを対応させ一致した個数の多いほうを改訂版として採用している。一致しない分類コードは採用された改訂版に追加して HS 改訂版の台湾分類として UN の改訂版とは識別できるようにしている。HS1988 から HS2002 までのそれぞれに含まれる商品分類コードの関係は 8 つに分けることができる。すなわち、(1) HS1988、HS1996、HS2002 に対して共通して所属する商品分類コードを H(88・96・02)、(2) HS1988 にのみ所属するものを H(88)、(3) HS1988 と HS1996 に対して共通して所属するものを H(88・96)、(4) HS1988 と HS2002 に対して共通して所属するものを H(88・02)、(5) HS1996 にのみ所属するものを H(96)、(6) HS1996 と HS2002 に対して共通して所属するものを H(96・02)、(7) HS2002 に対してのみ所属するものを H(02)、(8) HS1988、HS1996、HS2002 に対していずれにも所属しない商品分類コードは台湾貿易データ固有のものであり、これを H(tw)とする。

台湾貿易データで使用されている HS 分類コードと HS1988、HS1996、HS2002 の各改訂版の対応関係は表 2.5 に示されている。表 2.5 において示されている数字は左から年ごとの台湾の商品分類コードの個数、H(88.96.02)に一致した分類コードの個数、H(88)および H(96)はそれぞれ HS1988 と HS1996 に一致した個数である。以下同様である。H(tw)が上述した台湾固有の商品分類コードである。UN から入手した HS 各改

表 2.5 台湾で使用されている HS 分類コードと HS-88、HS-96、HS-02 の対応関係

<i>Y</i>	<i>Total</i>	<i>H(88・96・02)</i>	<i>H(88)</i>	<i>H(88・96)</i>	<i>H(88・02)</i>	<i>H(96)</i>	<i>H(96・02)</i>	<i>H(02)</i>	<i>H(tw)</i>	<i>C</i>
1989	4881	4415	263	194	1	0	0	0	8	88
1990	4851	4391	261	192	1	0	0	0	6	88
1991	4867	4404	259	196	1	0	0	0	7	88
1992	4886	4424	260	195	1	0	0	0	6	88
1993	4880	4418	261	198	1	0	0	0	2	88
1994	4883	4422	262	195	1	0	0	0	3	88
1995	4875	4418	262	189	1	0	1	0	4	88
1996	4893	4429	260	199	1	0	1	0	3	88
1997	5203	4423	258	193	1	20	306	0	2	m1
1998	4994	4422	43	193	1	20	313	0	2	96
1999	4984	4424	29	195	0	20	314	0	2	96
2000	4956	4414	19	195	0	19	307	0	2	96
2001	4951	4412	18	186	0	19	314	0	2	96
2002	4953	4413	17	189	0	19	313	0	2	96
2003	5163	4439	16	191	1	20	313	181	2	m2
2004	5164	4435	16	88	1	13	312	297	2	02
2005	5085	4441	18	15	1	3	314	290	3	02
2006	5070	4442	19	8	1	2	314	282	2	02

(出所) NewTaiwan\$表示の UN に準拠した台湾貿易データと HS1988、HS1996、HS2002 のそれぞれの商品分類表にもとづき著者作成。

(注) *C* は商品分類を表わし、HS1988、HS1996、HS2002 をそれぞれ 88,96,02 としている。また、mixed(1)は HS1988 と HS1996 の過渡期、mixed(2)は HS1996 と HS2002 の過渡期をそれぞれ表わしている。

訂版と SITC-R3 の対応表は 6 桁レベルの Sub-heading しか含まれていないため台湾の *mdcc* である 2 個の 4 桁レベル分類コードの 8501 と 8409 とは一致するものが存在しない。このことは、海老原・野田 (2007) によれば、「1994 年の輸出の 4 桁レベル分類コードは 8501 であり、1995 年および 1996 年の輸入のそれは 8409 である。」ことがわかる。一致しない HS の分類コードは 1994 年の輸出の 8501、1995 年および 1996 年の輸入の 8409 に存在するほか、商品総額は対応表には含まれていないため一致しない。これらも、*H(tw)* に含めて個数が計算されている。

1989 年から 1995 年までは HS1996 年度版の改訂前であるので無条件で HS1988 年度版に従って分類しているとしても構わない。問題は 1966 年であるが、図 2.6 から 1996 年はほとんどの商品分類が *H(88.96.02)*、*H(88)*、*H(88.02)* に所属し、88 の関わるところへ集中しているため商品分類は HS1988 と判断される。1998 年から 2002 年まではほ

とんども H(88.96.02)、H(88.96)、H(96.02)に所属し、96 の関わるところへ集中しているため商品分類は HS1996 と判断される。H(88)にもわずかではあるが所属しているのは台湾貿易データにおいて HS1988 の一部が変更なしに利用されていると考えられる。しかし、1997 年は HS(88)と HS(96)はほぼ同程度に所属するため分類変更のための過渡期と判断される。表 2.4 ではこの時期の HS の改訂版を mixed (1) として表している。2004 年から 2005 年についてはほとんどが H(88.96.02)、H(96.02)、H(02)に所属し、02 に関わるところへ集中しているため商品分類は HS2002 と判断される。同じようにして、2003 年は HS1996 と HS2002 の過渡期であり mixed (2) と判断される。

台湾貿易データにおいて、1998 年から 2002 年までの HS1996 において旧改訂版の HS1988 が変更なしに利用されていたのと同じように、2004 年から 2005 年については HS1988 および HS1996 の旧改訂版の一部が変更なしに利用されていることに注意する必要がある。というのは、変換のための対応表作成にはこれらの旧改訂版の一部を含めて作成する必要があるからである。

台湾貿易データを 1989 年から 2006 年までを同一の HS1988 に変換するため必要な HS1996 から HS1988 への対応表、HS2002 から HS1988 への対応表のそれぞれは UN 作成の対応表を基礎としている。すなわち、アジア経済研究所では前者の対応表は clcvp6.h88_96、後者は clcvp6.h02_88 としてグループ化された対応表の利用が可能である。この対応表に旧改訂版に一部と台湾固有の分類コードを付け加えて台湾貿易データの変換のために作成された対応表が前者に対しては clcvp6.h96_88_tw、後者は clcvp6.h02_88_tw である。対応関係が多量であるため本章で紹介するのは省略するが、台湾貿易データに対する HS1988 への同一分類への変換と同じように SITC-R1 への変換のための対応表の利用可能である。これらの変換のための対応表は対応関係のタイプが 1 または 3 であり、統合型の対応関係から構成されている。

2.2 国コードの対応表

台湾貿易データから UN Comtrade Database 貿易データのそれぞれの国コードの対応表は海老原・野田 (2007) により付表 1 の「国コード対応表」としてアジ研統一国コードを経由して両者を連結して作成されている。すなわち、「台湾定義国コード」→「アジ研統一国コード」→「UN 定義国コード」となる変換表である。変換表ができてしまえば実際は台湾から UN へ直接変換することになる。この「国コード対応表」からアジ研統一国コードを取り除いて、「台湾定義国コード」→「UN 定義国コード」

表 2.6 台湾と UN Comtrade Database 貿易データの国コードの対応関係のタイプ

	タイプ 1	タイプ 2	タイプ 3	タイプ 4a	タイプ 4b	total
グループ数	197 0.9292	0 0.0000	15 0.0708	0 0.0000	0 0.0000	212 1.0000
対応関係の数	197 0.8312	0 0.0000	40 0.1688	0 0.0000	0 0.0000	237 1.0000

(出所)。付表 2.1 の対応関係を対応関係のグループ化プログラムの実行ファイル clcvp6_p.ex に
より著者作成。

表 2.7 台湾と UN Comtrade Database 貿易データの国コードの対応関係

台湾貿易データ	UN Comtrade Database 貿易データ
(031)	
401 Canada Atlantic	124 Canada
402 Canada Pacific	124
403 Canada Others	124
(040)	
316 Comoros	174 Comoros
353	174
(042)	
315 Congo, The Democratic	180 Democratic Republic of the Congo
384 Zaire	
(061)	
220 France: Atlantic	251 France, Monaco
221 France: Mediterranean	251
222 France: Others	251
(083)	
017 India: East Coast	356 India, excluding Sikkim
018 India: West coast	356
019 India Others	356
(089)	
230 Holy See	381 Italy
233 Italy	381
253 San Marino	381
(117)	
515 French Territories/ Colonies in Central America, nes	473 LAIA not elsewhere specified
598 Other Central American Countries	473
698 Other South American Countries	473
(120)	
421 Mexico: Pacific	484 Mexico
422 Mexico: Gulf	484
423 Mexico: Others	484

(139)			
701	American Samoa	582	Former Pacific Islands
750	U.S.Territories/ Possession	582	
	in Pacific Area , n.e.s.		
(154)			
527	Nevis	658	Saint Kitts, Nevis and Anguilla
537	St. Vincent and the	658	
	Grenadines		
(171)			
255	Spain: Atlantic	724	Spain
256	Spain: Others	724	
(177)			
236	Liechtenstein	757	Switzerland, Liechtenstein
258	Switzerland	757	
(196)			
398	Other African Countries	837	Bunkers
498	Other North American	837	
	Countries		
810	Other Countries	837	
(197)			
431	U.S.A. : Atlantic	841	UAS and Puerto Rico and Virgin Islands
432	U.S.A. : Gulf	841	
433	U.S.A. : Pacific	841	
434	U.S.A. : Others	841	
533	Puerto Rico (American)	841	
(205)			
137	Yemen	886	Former Arab Republic of Yemen
141	Yemen Arab Republic	886	

(出所) 本章の付表 2.1、付表 2.2、付表 2.3 にもとづき著者作成。

(注) () の中の数字は国グループの一連番号である。

の方向に対するグループ化された対応関係が本章の付表 2.1 の台湾と UN Comtrade Database 貿易データにおける国コードの対応表である¹。この対応表で使用されている「台湾定義国コード」と「UN 定義国コード」のそれぞれのコードと国名はそれぞれ付表 2.2 と付表 2.3 で示されている。

付表 2.1 の対応表は「台湾定義国コード」→「UN 定義国コード」の方向に対して統合型の対応表であり、グループ化された国コードは対応関係のタイプ 1 と 3 で構成されていることがわかる。すなわち、対応関係のタイプは表 2.6 に示されており、対応関係のタイプ 1 と 3 以外はすべて 0 になっていることから確かめられる。この表から台湾の国コードの数が 237 個であるのに対してそれに対応する UN の国コードは 212 個であることが示されている。また、統合型の国グループは 15 個存在し、グループ番号は 031、

040、042、061、083、089、117、120、139、154、171、177、196、197、205である。付表2.1には対応関係のタイプが3のであるものは影を付けて示されており、この15個の国グループを抜き出したのが表2.7である。表2.7において (031) は国グループの一連番号が031であることを示し、台湾の国コードの401であるCanada Atlantic、402のCanada Pacific、403のCanada OthersがUNの国コードの124のCanadaへ統合されていることを表わしている。

台湾定義の国コードから国連定義のそれへの変換において前者の国コード変換表にない国コードが出現した。502、528、820、710 である。これらは個々の数値をオリジナルのファイルから拾い出し、貿易統計月報と照合してみた。それぞれ BR T/C CA (英領中央アメリカ)、Neth. T/C in C.A.(オランダ領中央アメリカ)、Origin Unidentifiable (原産国不明)、British Pacific IS (英領太平洋諸島) であることが判明した。これらについて、502→913、528→912、710→914、820→898 となる変換している。最初の三つは該当する国が国連統計に見つからないので、あらたにコードをおこした。

2.3 数量単位の対応

数量単位も台湾貿易データのそれとUN Comtrade Database貿易データのそれとは異なるから、UN化準拠のためにはコード変換をしなければならない。商品分類がHSで編集されている台湾貿易データは1989年以降であるので、海老原・野田 (2007) の表4から対象年度で使用されている数量単位のみを取り出したのが表2.8である。この表は紙面の都合で台湾のコードと国連のコードと単位の説明の三つを並べてあり、*twu.ul*は台湾定義の数量単位、*un.ul*はUN Comtrade Database貿易データの数量単位、*desc*は単位の説明である。1989年以降の台湾貿易統計月報には巻頭に数量単位の一覧があるので、それらにリストされていれば調べやすい。そこにも載っていないものについては、オリジナルのデータの当該のレコードと貿易統計書月報を比べてその記述のなかで数量、金額、相手国が一致するものを探し出して、単位の記述があるかどうかを調べなければならない。

台湾貿易データにおいて3桁を数量単位の桁数としていることは同じであるが、1989年から1992年までと1993年から2006年まででは使用されている数量単位の表記が異なっている²。台湾貿易データとUN貿易データは共に数量は主数量（日本貿易統計を基準としたときの第2数量）と従数量（同じく第1数量）から構成されている。主数量はだいたいKGで計上されているが、MTなどのトンの数量が計上されているものも

表 2.8 台湾貿易データで使用されている数量単位と国連の数量単位の対応表

<i>twu.u</i>	<i>un.u</i>	<i>desc</i>	<i>twu.u</i>	<i>un.u</i>	<i>desc</i>
空白	1	空白も数量なしとする	MTQ	C	Cubic Metre
:::	1	No Quantity (all quantities zero, standard if 0-3 digits)	M3	C	Cubic Metre
KG	8	Weight in Kilo GrAms	PC	5	Number of items
MT	9	Weight in Metric Ton	PCE	5	Number of items (Piece)
KGM	8	Weight in Kilograms	UNT	5	Number of items (Unit)
TNE	9	Weight in Metric Ton	NIU	5	Number of items (Unit)
TND	9	Dry Metric Ton	DOS	5	Dose 一服
KVA	3	Electrical energy in thousands of Kilowatt-hours	BOT	5	BOTLE
NPR	6	Number of pairs	DOZ	D	DOZEN ダース
PR	6	Number of pairs	DZN	D	DOZEN ダース
LTR	7	Volume in litres	DEN	D	DOZEN ダース
L	7	litre リットル	HED	H	Head 頭数
MTR	4	Length in metres	HD	H	Head
M	4	metres	SET	S	SET セット
MTK	2	Area in square metres	HSK	Q	100 SticKs
M2	2	square metres	CS	Q	100 SticKs
			KS	R	1000 SticKs
			KSK	R	1000 SticKs
			DMT	X	不明 92 年

(出所) 台湾貿易データの数量単位は *Monthly Statistics of Exports, The Republic of China, Taiwan District* の数量単位一覧、UN Comtrade Database 貿易データの数量単位は UN ホームページ、<http://comtrade.un.org/db/mr/rfGlossaryList.aspx>、の Glossary にある Quantity Unit Reference にもとづき著者作成

(注) *twu.u* は台湾貿易データの数量単位、*un.u* は UN 定義の数量単位、*desc* は UN の数量単位の名称である。

ある。UN Comtrade Database 貿易データは主数量が無条件に KG ということになっていて、数量単位はレコードのなかに記載はない。MT 表示は 1000 倍して KG に換算している。

UN Comtrade Database 貿易データの数量単位は数字の1桁であるが、台湾のコードを対応させるためには足りなかった。本章ではやむなくアルファベットも追加して新たなコードを割り当てているが、UN化準拠のためにはこのアルファベットをUNの国コードへと対応付けをする必要がある。Head (頭数) はいわば個数の一種であるからPCやUNITと同じコードの5を当ててもよかったのかもしれない。変わったところsticks)、

それからいま述べた千支である。この単位が使われている品目は紙巻タバコであった。DOSも珍しい。この商品は葉である。

台湾貿易統計月報と照らし合わせても判明しなかったのはDMTである。1992年の貿易データに出現し、商品は苛性ソーダ（Sodium Hydroxide）である。オリジナルのデータを抜き出して見てみると主数量はMT（Metric ton）で計上され、DMTは従数量として計上されている。DMTの数量は同じ数値のときもあれば、MTの半分くらいの値だったり、ゼロの場合もある。同じ商品で1993年の輸入は従数量がTNDで計上されているから、乾燥重量の可能性が高い。

一部に主数量も従数量も計上されていないものがある。1989年輸入で989900という品目がその例であるが、Special transactions not classed by Kind、特殊取扱品とでもいうべきものであった。1991年輸入の710310（Precious Stones）は統計書にはKGの数値がある。同様に92年輸出にある950699（その他のスポーツ用品についても統計書にはKGの表示があった。なぜ電子ファイルのほうには数量がないのか、その理由は不明である。2003年には電力の輸出がわずかながら実績としてあり、さすがに重量の数量（主数量）はなくKVAが従数量に計上されていた。ちなみに輸出先は中国（mainland）である。1989年輸出、401210（Retreaded tyres of rubber for other Vehicles、再生タイヤ）は主数量がPCであり従数量が空欄であったので、数値を従数量に移し、主数量を空欄とした。しかし統計書のほうはPCとKGが同一品目内で入り混じっている。

3. UNに準拠した貿易データ作成

本節では具体例として商品分類がHSにもとづいて分類されている1989年から2006年までのUNに準拠した貿易データの作成を紹介する。それ以外の年についてもほぼ同様な処理過程により作成は可能である。台湾貿易データからUNに準拠した貿易データを作成するための処理過程の概要は以下の通りである。

〔1〕台湾財政部關稅總局統計室から台湾貿易データの磁気媒体に記憶されたデータを購入する。このデータを台湾貿易データの（原）オリジナル貿易データと呼び、原データと同じ内容のものをコピーして正・副を作成し、保管する。UNに準拠した貿易データの作成処理のためにオリジナル貿易データは年ごとに保存される。

〔2〕年、輸出入区分ごとにオリジナル貿易データに含まれている分類カテゴリーの中のすべての商品分類、相手国、数量単位のそれぞれを抽出する。この抽出された商品分類、相手国、数量単位はそれぞれ作業用ファイルとして一時的に保存される。

〔3〕相手国は年ごとに台湾貿易データの相手国と UN Comtrade Database 貿易データの国コードとの対応表との比較をおこない、対応しないものがあれば新規に対応関係を検討し、対応表に追加する。数量単位についても同様な処理が必要であり、完成した数量単位の対応表は年ごとに保存される。

〔4〕オリジナルデータの商品分類コードの桁数を先頭から 6 桁目までを利用して HS にもとづく詳細分類コードを作成する。HS の商品分類表には存在しないが台湾貿易データでは使用されている分類コードがあればそれは台湾固有の商品分類コードであるので明らかにしておく必要がある³。

〔5〕相手国と数量単位を UN Comtrade Database 貿易データの国コードと数量単位へそれぞれ変換し、データフォーマットを UN Comtrade Database 貿易データの形式に揃える。

〔6〕年、輸出入区分、商品分類、相手国、数量単位ごとに取引額と数量を合計する。この段階では取引額の単位はまだ 1,000NewTaiwan\$ のままである。

〔7〕この貿易データに対して整合性評価表を作成する。整合性が取れていると確認できなければその原因を検討し、問題点を明らかにする。整合性が確認できた貿易データが 1,000New Taiwan\$ を単位とする UN に準拠された貿易データであり、この貿易データは年ごとに保存される。

〔8〕商品分類の階層構造を作成する。

〔9〕取引額を 1,000 NewTaiwan\$ から 1,000 US\$ へと変換する。

〔10〕この貿易に対して整合性評価表を作成する。整合性が取れていると確認できなければその原因を検討し、可能な限り補正する。整合性が確認できた貿易データが UN に準拠された貿易データであり、この貿易データは年ごとに保存される。

この UN に準拠された貿易データを作成するのに先立って 1,000NewTaiwan\$ から 1,000US\$ への変換レートを追加しておかなければならない。変換レートは表 2.3 に示されているように 1989 年以降は *Statistical Yearbook of the Republic of China 2003* に記載されている総額から直接 1,000US\$ へと変換するように処理方法が変更されている。処理ステップの〔2〕を年ごとに実行するのはデータ処理用のプログラムであるが、ステップの〔3〕は手作業でおこなう。〔5〕から〔8〕まではデータ処理プログラムで実行できる。

台湾貿易データの数量は 11 桁レベルの商品分類コード CCC に対して割振られているためそのコードをもとにしたときはそれほど大きくないが、それを HS の 6 桁レベル分類コードへ集計した数量は相対的に大きくなることに注意すべきである。結果と

してUN貿易統計やOECD貿易統計の他の報告国の数量単位の使用頻度と比較しても metric ton よりも kg の表示が極端に多くなっている。UN貿易統計で使用されている商品分類に対する数量単位に一致させる等、他の報告国との間で横並びに数量単位を調整することは今後の検討課題として残されている。

また、商品総額における数量については詳細分類コードの数量の合計と比較しても大幅に値が異なっており、意味がない数字と見なせるため数量単位を空白にして数量を 0 とする。UN に準拠された台湾貿易データは原則として取引額と数量がともに 0 となるデータは削除している。この原則に従うとある相手国について詳細分類コードの取引額が 0 で数量が 0 でないものがあり、しかも商品総額が単位未満の 0 となるとき、この相手国の商品総額は取引額と数量が共に 0 となり、削除の対象となる。これは詳細分類コードがあるのにその商品合計がないという相手国ができてくる。この矛盾を避けるため、商品総額については NewTaiwan\$ から 1,000US\$ への原則に従うとある相手国について詳細分類コードの取引額が 0 で数量が 0 ではないものがあり、しかも商品総額が単位未満の 0 となるとき、この相手国の商品総額は取引額と数量がともに 0 変換過程において生じた取引額と数量がともに 0 となるデータは詳細分類コードが存在する場合には削除しないことにする。

商品分類については台湾貿易データは 6 桁レベル分類コードを基礎データとして作成する。UN 化準拠のためには階層的に構成される上位桁レベル分類コードを作成しなければならない。商品分類の上位桁レベル分類コードへの積み上げの取引額および数量は下位の桁レベル分類コードのそれを合計することによって得る。レートの変換で使用する数字の有効桁数は 4 であり、丸めの誤差をできるだけださないようにする必要があるので、データ処理にさいしては上位桁レベルの積み上げは台湾の通貨である 1,000 NewTaiwan\$ のままで実行し、最後に HS の詳細分類コードおよびその集計された取引額に対して変換レートに乗じて 1,000US\$ 表示の取引額へと変換している。各桁レベル分類コードごとに US\$ へ変換し、US\$ を単位として四捨五入しているため、下位レベル分類コードの取引額を合計しても必ずしも上位レベルのそれとは一致するとは限らない。

アジア経済研究所では商品分類の体系あるいは桁レベルの分類コードとの関係とは別に、実際に得られた貿易統計データにおいて取引金額がゼロでない商品分類コードに対して階層的に構成された分類コードの中で下位の階層の分類コードを持たないものを詳細分類コード (most detail classification code: *mdcc*) と呼んでいる。アジア経済研究所では商品分類における整合性は商品総額を評価基準として、詳細分類コード *mdcc*

表 2.9 台湾貿易データにおける整合性の評価表 (2003~2006) (1,000 New Taiwan \$)

y	x_{TW}	e		d_1	...	d_{10}	d_{11}	$e_c + e_{c,p}$		$e_p + e_{c,p}$	
(import)											
2003	4383722834	0	0.00000	0		0	9536	0	0.00000	0	0.00000
2004	5627586457	0	0.00000	0		0	9629	0	0.00000	0	0.00000
2005	5844590698	0	0.00000	0		0	9539	0	0.00000	0	0.00000
2006	6568410311	0	0.00000	0		0	9513	0	0.00000	0	0.00000
(export & re-export)											
2003	4952475993	0	0.00000	0		0	8538	0	0.00000	0	0.00000
2004	5817800332	0	0.00000	0		0	8619	0	0.00000	0	0.00000
2005	6084207901	0	0.00000	0		0	8422	0	0.00000	0	0.00000
2006	6926598601	0	0.00000	0		0	8427	0	0.00000	0	0.00000
(re-export)											
2003	220482661	0	0.00000	0		0	4007	0	0.00000	0	0.00000
2004	279435783	0	0.00000	0		0	4227	0	0.00000	0	0.00000
2005	290285957	0	0.00000	0		0	4305	0	0.00000	0	0.00000
2006	352720853	0	0.00000	0		0	4437	0	0.00000	0	0.00000
(re-import)											
2003	26255010	0	0.00000	0		0	3053	0	0.00000	0	0.00000
2004	29084701	0	0.00000	0		0	3057	0	0.00000	0	0.00000
2005	32573594	0	0.00000	0		0	3089	0	0.00000	0	0.00000
2006	35926395	0	0.00000	0		0	3072	0	0.00000	0	0.00000

(出所) 台湾貿易データにもとづき著者作成。

(注) 商品分類は CCC 分類コードの 1 1 桁レベル分類コードを対象としている。総合誤差はすべて 0、1 桁レベル分類コードから 10 桁レベル分類コードまでの商品分類コードは存在していない。

の取引額をすべて合計すると商品総額に一致することを整合性の評価としている。貿易データにおける取引額にもとづく整合性の評価および補正については野田・深尾の「貿易マトリクス作成における整合性の評価—新および旧 AID-XT 基礎データにもとづいて—」に説明されている。これによると、完全に整合性の取れた貿易マトリクスの取引額表が存在するとき、相手国による誤差は $e_p(\bullet) + e_{c,p} = 0$ 、商品分類コードによる誤差は $e_c(\bullet) + e_{c,p} = 0$ 、総合誤差は $e = 0$ となる。

海老原・野田 (2007) の表 3 によれば 1,000New Taiwan\$ で表記されている台湾貿易データの 1989 年から 2002 年までは総合誤差がすべて 0 であり、サムチェックにもとづく誤差はないことがわかる。この表において注意すべきことは、1994 年の輸出と 1995 年および 1996 年の輸入に *mdcc* としてそれぞれ 1 個の 4 桁レベル分類コードが含

まれていることである。1994 年の輸出の 4 桁レベル分類コードは 8501 であり、1995 年および 1996 年の輸入のそれは 8409 である。台湾貿易データにおける 2003 年から 2006 年の整合性は表 2.9 に示されている。前回の整合性評価表が HS の 6 桁レベル分類コードを対象としていたのに対して表 2.9 では台湾貿易データの Original データの商品分類コードにあわせて CCC 分類の 11 桁レベル分類コードまでを対象としている。この表においても総合誤差は 1 桁レベル分類コードから 10 桁レベル分類コードまでに使用された商品分類コードはすべて 0 なので、11 桁レベル分類コードが *mdcc* 分類コードと一致していることがわかる。

相手国の評価については台湾貿易統計月報に記載されている相手国総額と UN に準拠された台湾貿易データの相手国別商品総額を比較することで可能となる。取引金額が同一の 1,000NewTaiwan\$表記であるためこの比較は直接的におこなえる。本章では比較結果を明示的に示していないが個別相手国について整数の下 1 桁まで一致していることを確認できる。しかし、UN\$に変換された取引額については必ずしも相手国総額と一致するとは限らない。

台湾貿易データの入出力データの書式は表 2.10 に示されている。入力データについては台湾 Original データの固定長の書式であり、商品分類が HS 系列である 1989 年以降の書式は基本的には同一形式である。出力は UN Comtrade Database 貿易データの csv 形式の書式である。

おわりに

アジア経済研究所では台湾貿易データを UN に準拠された貿易データを作成しており、本章において紹介しているのは 1989 年から 2006 年まで商品分類が HS 系列である貿易データを HS1988 年度版に統一すると同時に、相手国および数量単位を UN Comtrade Database に変換するための方法である。変換の基本となるものは台湾貿易データで使用されている分類カテゴリーを UN Comtrade Database 貿易データのそれへの変換のための対応表を検討し、作成することである。変換の主要な部分は国コードの変換と数量単位の変換である。分類カテゴリーの体系は UN と台湾とはもともと同じではないから、機械的に置き換えればよいというわけではない。変換先、この場合は UN 準拠の形式だが、そこに対応するコードがなければ補わなければならない。実際数量単位は英文字まで動員して種類を増やす必要があった。であるから出来上がったものはあくまで UN 準拠のものであり、UN Comtrade Databas 貿易データそのものに

表 2.10 台湾貿易データの入出力のフォーマット (1989 年以降)

(input: 台湾貿易データの Original データ、固定長形式)

001~011	商品分類コード (CCC コードであり、先頭の 6 桁は HS 分類コード)
012~013	相手国コード (2 桁の文字)
014~015	不明
016	積出入港 (1 は Keelung、2 は Taipei、3 は Taichung、4 は Kaohsiung)
017~027	不明
028	輸出入区分 (D) : 1 は輸出、2 は輸入、4 は再輸出、5 は再輸入
029~030	CCC の Section code (HS の Section code と同一)
031~033	従数量単位 (数量単位表示)
034~036	主数量単位 (kg, TON 等の重量表示)
037~039	相手国コード (3 桁の数字)
040~080	不明
081~090	年合計の従数量 (数量単位表示)
091~100	年合計の主数量 (kg, TON 等の重量表示)
101~110	年合計の取引額 (輸入は CIF、輸出は FOB)
111~119	輸入の DUTY
120	不明

(output : UN Comtrade Database 貿易データ、csv 形式)

報告国 (reporter code)

輸出入区分 (trade flow code または direction of trade)

商品分類 (classification または system of commodity classification)

商品分類コード (commodity code)

相手国 (partner code)

年 (year)

取引金額 (value : v)

kg 表示の重量数量 (netweight (kg))

数量単位 (quantity unit)

取引数量 (Supplementary Quantity)

(出所) 著者作成

(注) 台湾貿易データの出力は UN Comtrade Database 貿易データのフォーマットと同一。

はなりえない。また作り方もバリエーションがありうるし、今回の作品はそのなかの一つにすぎない。当然こういったポリシーで作り上げたのかは今回の作業の重要な要点になる。

UN に準拠された台湾貿易データは統計値に更新があったからといって新たに磁気媒体の貿易データを再度購入して輸入総額を統計年鑑のそれに一致させることはおこなっていない。そのため、改訂前には UN に準拠された貿易データと一致していた

Gross 表示は改訂後には一致しなくなることがある。したがって、磁気媒体の台湾貿易データを使用するときには改訂年については貿易統計書あるいは統計年鑑の輸入総額とは一致しないことを頭に入れておく必要がある。すなわち、1989 年から 2004 年までは Gross 表示、2005 年以降は UN 方式で変換レートは変換する必要がある。

また、UN に準拠された台湾貿易データは利用者が国際比較および分析等に使うわけだから、なるべく元の情報を失わないようにして、かつ利便性も考慮しなければいけない。両方満たせればよいのだが、相反すればどこかで折り合いをつけなければならない。まして今後どのような利用のされ方がなされるのか予測も難しい。今後の利用者の批判、意見を仰ぎたい。

¹ 野田 (2002) によれば、分類 A と B の対応関係に CleVP6_Pex のプログラムを実行させると、対応関係をグループにより分割でき、これを対応関係の基本モデルという。対応関係の基本モデルで示された各項目の記号とそれが示す内容は次のように表される。 $G_i(j)$: グループおよびサブグループを表し、 i はグループの一連番号 (01-04)、 j はそのサブグループの一連番号 (05-08) である。基本モデルの対応関係ではサブグループは存在しないので、グループ化された j はすべて 1 となっている。 $Type$: サブグループの対応関係のタイプ (10-11) を表す。 X_A : 分類 A の分類コード (13-22)、 X_B : 分類 B の分類コード (23-32) を表す。 X_Af : 分類 A の分類コードの頻度 (33-36)、 X_Bf : 分類 B の分類コードの頻度 (37-41) を表す。 X_AQ : 分類 A 内で分類コードを昇順に並べたときの一連番号 (42-46)、 X_BQ : 分類 B 内で分類コードを昇順に並べたときの一連番号 (47-52) を表す。() の中の数字はカラム数を示す。付表 2.1 において、 $Type$ は t 、 X_A は $twnc$ 、 X_B は unc 、 X_Af は f_T 、 X_Bf は f_U を表わしている。

² 台湾貿易データにおいて 1989 年から 1992 年までと 1993 年から 2006 年まででは使用されている数量単位の表記が異なっている。前者については、CS (One hundred sticks)、DOZ (Dozen)、HD (Head)、KS (One thousand sticks)、L (Litre)、M (Metre)、M2 (Square metre)、M3 (Cubic metre)、PC (Piece)、PR (Pair)、SET (Set)、UNT (Unit) が使用されており、後者は、DOS (Dose)、DZN (Dozen)、HED (Head)、HSK ()、KSK (One hundred sticks)、LTR (Litre)、MT (Metric ton)、MTK (Square metre)、MTQ (Cubic metre)、MTR (Metre)、NIU (Unit)、NPR (Pair)、PCE (Piece)、SET (Set)、TND (Dry metric ton) である。特異な数量単位として BOT (Bottle) は 1990 年、KVA (Kilo volt ampere) は 2003 年、DMT は 1992 年、UNI (Unit) は 1990 のみで参照されている。意味不明のものは:::であり、この数量単位は 1989 年に参照されている。

³ HS分類コードにおける台湾固有の分類コードは、140430 (Sphagnum moss)、291040 (Octamethyl or other organic (phenyl or other organic functional groups) cyclotetrasiloxane)、

330750 (Cleaning solution for contactlens) 、540152 (…) 、710392 (Rubies, sapphires and emeralds, otherwise worked) 、732189 (Other apparatus, domestic use, not electrically operated, of iron or steel) 、989900 (Special transactions not classed by kind) である。

参考文献

- 海老原悦男・野田容助 (2007) 「台湾貿易データにおける UN 貿易データの準拠の試み」 (野田容助・黒子正人 編『貿易関連指数と貿易構造』統計資料シリーズ (SDS) No.91 アジア経済研究所)
- 木下宗七・野田容助 編 (1995)『世界貿易データシステムの整備と利用』統計資料シリーズ (SDS) No.67 アジア経済研究所
- 黒子正人 (2001a) 「貿易統計データベースにおける国コードの利用」 (野田容助 編『商品分類の改訂に伴う貿易統計の変換』統計資料シリーズ (SDS) No.83 アジア経済研究所)
- (2001b) 「国コード表」 (野田容助 編『商品分類の改訂に伴う貿易統計の変換』統計資料シリーズ (SDS) No.83 アジア経済研究所)
- 野田容助 (2002) 「対応関係におけるグループ化とその連結」 (野田容助 編『世界貿易マトリクスの作成と評価—貿易指数の推計に向けて—』調査研究報告書 開発研究部2001-III-12 アジア経済研究所)
- (2003) 「世界貿易マトリクス作成における整合性の評価と補正」 (野田容助 編『改訂版世界貿易マトリクス—国際産業連関表 24 部門分類にもとづいて—』統計資料シリーズ (SDS) No.84 改訂版 アジア経済研究所)
- (2004) 「台湾の AID-XT 基礎データ作成と評価」 (野田容助 編『貿易指数の作成と応用—長期時系列貿易データの推計と分析に向けて—』調査研究報告書 開発研究センター 2003-IV-20 アジア経済研究所)
- 野田容助・黒子正人 編『貿易関連指数と貿易構造』統計資料シリーズ (SDS) No.91 アジア経済研究所)
- 野田容助・深尾京司 (2004) 「貿易マトリクス作成における整合性の評価—相手国、数量単位および数量を考慮に入れて—」 (野田容助 編『貿易指数の作成と応用—長期時系列貿易データの推計と分析に向けて—』調査研究報告書 開発研究センター2003-IV-20 アジア経済研究所)

付表 2.1 台湾と UN Comtrade Database 貿易データにおける国コード対応表

$G_i(j)$	t	$twn.c$	$un.c$	f_T	f_U	$G_i(j)$	t	$twn.c$	$un.c$	f_T	f_U		
001	1	1	102	004	1	1	041	1	1	314	178	1	1
002	1	1	201	008	1	1	042	1	3	315	180	1	2
003	1	1	301	012	1	1	042	1	3	384	180	1	2
004	1	1	202	020	1	1	043	1	1	505	188	1	1
005	1	1	302	024	1	1	044	1	1	272	191	1	1
006	1	1	506	028	1	1	045	1	1	591	192	1	1
007	1	1	287	031	1	1	046	1	1	108	196	1	1
008	1	1	600	032	1	1	047	1	1	210	200	1	1
009	1	1	700	036	1	1	048	1	1	209	203	1	1
010	1	1	203	040	1	1	049	1	1	318	204	1	1
011	1	1	503	044	1	1	050	1	1	213	208	1	1
012	1	1	105	048	1	1	051	1	1	508	212	1	1
013	1	1	038	050	1	1	052	1	1	509	214	1	1
014	1	1	286	051	1	1	053	1	1	630	218	1	1
015	1	1	501	052	1	1	054	1	1	512	222	1	1
016	1	1	206	058	1	1	055	1	1	320	226	1	1
017	1	1	001	064	1	1	056	1	1	321	230	1	1
018	1	1	610	068	1	1	057	1	1	322	232	1	1
019	1	1	271	070	1	1	058	1	1	294	233	1	1
020	1	1	306	072	1	1	059	1	1	715	242	1	1
021	1	1	611	076	1	1	060	1	1	219	246	1	1
022	1	1	507	084	1	1	061	1	3	220	251	1	3
023	1	1	740	090	1	1	061	1	3	221	251	1	3
024	1	1	003	096	1	1	061	1	3	222	251	1	3
025	1	1	208	100	1	1	062	1	1	640	254	1	1
026	1	1	004	104	1	1	063	1	1	744	258	1	1
027	1	1	309	108	1	1	064	1	1	324	262	1	1
028	1	1	282	112	1	1	065	1	1	328	266	1	1
029	1	1	091	116	1	1	066	1	1	285	268	1	1
030	1	1	311	120	1	1	067	1	1	329	270	1	1
031	1	3	401	124	1	3	068	1	1	225	276	1	1
031	1	3	402	124	1	3	069	1	1	224	278	1	1
031	1	3	403	124	1	3	070	1	1	330	288	1	1
032	1	1	310	132	1	1	071	1	1	720	296	1	1
033	1	1	312	140	1	1	072	1	1	226	300	1	1
034	1	1	008	144	1	1	073	1	1	410	304	1	1
035	1	1	313	148	1	1	074	1	1	519	308	1	1
036	1	1	620	152	1	1	075	1	1	518	320	1	1
037	1	1	090	156	1	1	076	1	1	331	324	1	1
038	1	1	798	162	1	1	077	1	1	650	328	1	1
039	1	1	621	170	1	1	078	1	1	521	332	1	1
040	1	3	316	174	1	2	079	1	1	522	340	1	1
040	1	3	353	174	1	2	080	1	1	014	344	1	1

081	1	1	231	348	1	1	120	1	3	422	484	1	3
082	1	1	232	352	1	1	120	1	3	423	484	1	3
083	1	3	017	356	1	3	121	1	1	098	490	1	1
083	1	3	018	356	1	3	122	1	1	292	498	1	1
083	1	3	019	356	1	3	123	1	1	526	500	1	1
084	1	1	020	360	1	1	124	1	1	349	504	1	1
085	1	1	111	364	1	1	125	1	1	351	508	1	1
086	1	1	112	368	1	1	126	1	1	128	512	1	1
087	1	1	216	372	1	1	127	1	1	352	516	1	1
088	1	1	113	376	1	1	128	1	1	729	520	1	1
089	1	3	230	381	1	3	129	1	1	037	524	1	1
089	1	3	233	381	1	3	130	1	1	244	528	1	1
089	1	3	253	381	1	3	131	1	1	733	540	1	1
090	1	1	334	384	1	1	132	1	1	734	548	1	1
091	1	1	525	388	1	1	133	1	1	731	554	1	1
092	1	1	023	392	1	1	134	1	1	529	558	1	1
093	1	1	283	398	1	1	135	1	1	354	562	1	1
094	1	1	116	400	1	1	136	1	1	355	566	1	1
095	1	1	337	404	1	1	137	1	1	298	568	1	1
096	1	1	094	408	1	1	138	1	1	245	579	1	1
097	1	1	026	410	1	1	139	1	3	701	582	1	2
098	1	1	119	414	1	1	139	1	3	750	582	1	2
099	1	1	290	417	1	1	140	1	1	039	586	1	1
100	1	1	092	418	1	1	141	1	1	532	590	1	1
101	1	1	122	422	1	1	142	1	1	730	598	1	1
102	1	1	340	426	1	1	143	1	1	660	600	1	1
103	1	1	295	428	1	1	144	1	1	661	604	1	1
104	1	1	341	430	1	1	145	1	1	040	608	1	1
105	1	1	342	434	1	1	146	1	1	248	616	1	1
106	1	1	293	440	1	1	147	1	1	249	620	1	1
107	1	1	237	442	1	1	148	1	1	332	624	1	1
108	1	1	032	446	1	1	149	1	1	131	634	1	1
109	1	1	345	450	1	1	150	1	1	251	642	1	1
110	1	1	346	454	1	1	151	1	1	280	643	1	1
111	1	1	035	457	1	1	152	1	1	362	646	1	1
112	1	1	033	458	1	1	153	1	1	046	647	1	1
113	1	1	034	461	1	1	154	1	3	527	658	1	2
114	1	1	725	462	1	1	154	1	3	537	658	1	2
115	1	1	347	466	1	1	155	1	1	504	660	1	1
116	1	1	240	470	1	1	156	1	1	534	662	1	1
117	1	3	515	473	1	3	157	1	1	535	670	1	1
117	1	3	598	473	1	3	158	1	1	365	678	1	1
117	1	3	698	473	1	3	159	1	1	134	682	1	1
118	1	1	348	478	1	1	160	1	1	367	686	1	1
119	1	1	350	480	1	1	161	1	1	307	690	1	1
120	1	3	421	484	1	3	162	1	1	368	694	1	1

163	1	1	049	702	1	1	191	1	1	268	807	1	1
164	1	1	211	703	1	1	192	1	1	291	810	1	1
165	1	1	093	704	1	1	193	1	1	303	818	1	1
166	1	1	273	705	1	1	194	1	1	264	826	1	1
167	1	1	369	706	1	1	195	1	1	375	834	1	1
168	1	1	370	710	1	1	196	1	3	398	837	1	3
169	1	1	363	716	1	1	196	1	3	498	837	1	3
170	1	1	136	720	1	1	196	1	3	810	837	1	3
171	1	3	255	724	1	2	197	1	3	431	841	1	5
171	1	3	256	724	1	2	197	1	3	432	841	1	5
172	1	1	371	732	1	1	197	1	3	433	841	1	5
173	1	1	372	736	1	1	197	1	3	434	841	1	5
174	1	1	670	740	1	1	197	1	3	533	841	1	5
175	1	1	374	748	1	1	198	1	1	539	850	1	1
176	1	1	257	752	1	1	199	1	1	381	854	1	1
177	1	3	236	757	1	2	200	1	1	680	858	1	1
177	1	3	258	757	1	2	201	1	1	284	860	1	1
178	1	1	135	760	1	1	202	1	1	690	862	1	1
179	1	1	289	762	1	1	203	1	1	198	879	1	1
180	1	1	052	764	1	1	204	1	1	755	882	1	1
181	1	1	376	768	1	1	205	1	3	137	886	1	2
182	1	1	745	776	1	1	205	1	3	141	886	1	2
183	1	1	536	780	1	1	206	1	1	270	891	1	1
184	1	1	139	784	1	1	207	1	1	385	894	1	1
185	1	1	377	788	1	1	208	1	1	820	898	1	1
186	1	1	138	792	1	1	209	1	1	528	912	1	1
187	1	1	288	795	1	1	210	1	1	502	913	1	1
188	1	1	747	798	1	1	211	1	1	710	914	1	1
189	1	1	378	800	1	1	212	1	1	241	915	1	1
190	1	1	281	804	1	1							

(出所) noday@iders12:/ts/dat/tw/h88 \$more clcvp6_p.out にもとづき著者作成

付表 2.2 台湾貿易データの国コード一覧表

<i>tw.n.c</i>	<i>desc.</i>	<i>tw.n.c</i>	<i>desc.</i>
000	Republic of China	018	India:West Coast
001	Bhutan	019	India:Others
003	Brunei	020	Indonesia
004	Burma	023	Japan
008	Sri Lanka	026	Korea
014	Hong Kong (British)	032	Macao (Portuguese)
017	India:East Coast	033	Malaysia:Malaya

034 Malaysia:Sabah	220 France:Atlantic
035 Malaysia:Sarawak	221 France:Mediterranean
037 Nepal	222 France:Others
038 Bangladesh	224 Germany, East
039 Pakistan	225 Germany, West
040 Philippines	226 Hellenic Republic
046 Ryukyu	230 Holy See
049 Singapore	231 Hungary
052 Thailand	232 Iceland
090 China (Mainland)	233 Italy
091 Cambodia	236 Liechtenstein
092 Laos	237 Luxembourg
093 Viet Nam	240 Malta
094 Korea N.	241 Monaco
098 Mongolia	244 Netherlands
102 Afghanistan	245 Norway
105 Bahrain	248 Poland
108 Cyprus	249 Portugal
111 Iran	251 Romania
112 Iraq	253 San Marino
113 Israel	255 Spain:Atlantic
116 Jordan	256 Spain:Others
119 Kuwait	257 Sweden
122 Lebanon	258 Switzerland
128 Oman	264 United Kingdom
131 Qatar	268 Macedonia
134 Saudi Arabia	270 Yugoslavia
135 Syrian Arab Republic	271 Bosnia and Herzegovina
136 South Yemen	272 Croatia
137 Yemen	273 Slovenia
138 Turkey	280 Russia
139 United Arab Emirates	281 Ukraine
141 Yemen Arab Republic	282 Belarus
198 Other Middle and Near Eastern Countries	283 Kazakhstan
201 Albania	284 Uzbekistan
202 Andorra	285 Georgia
203 Austria	286 Armenia
206 Belgium	287 Azerbaijan
208 Bulgaria	288 Turkmenistan
209 Czech Republic	289 Tajikistan
210 Czechoslovak	290 Kyrgyzstan
211 Slovakia	291 U. S. S. R
213 Denmark	292 Moldova Republic of
216 Ireland	293 Lithuania
219 Finland	309 Burundi
	310 Cape Verde, Republic of

311	Cameroon	381	Burkina Faso (Upper Volta)
312	Central African Republic	384	Zaire
313	Chad	385	Zambia
314	Congo	398	Other African Countries
315	Congo, The Democratic	401	Canada: Atlantic
316	Comoros	402	Canada: Pacific
318	Benin (Dahomey)	403	Canada: Others
320	Equatorial Guinea	410	Greenland (Danish)
321	Ethiopia	421	Mexico: Gulf
322	Eritrea	422	Mexico: Pacific
324	Djibouti (Afars and Issas)	423	Mexico: Others
328	Gabon	431	U. S. A. : Atlantic
329	Gambia	432	U. S. A. : Gulf
330	Ghana	433	U. S. A. : Pacific
331	Guinea	434	U. S. A. : Others
332	Guinea Bissau	498	Other North American Countries
334	Ivory Coast	501	Barbados
337	Kenya	502	British Territories/Colonies in Central America, n.e.s.
340	Lesotho	503	Bahamas
341	Liberia	504	Anguilla
342	Libyan Arab Republic	505	Costa Rica
345	Madagascar	506	Antigua and Barbuda
346	Malawi	507	Belize
347	Mali	508	Dominica
348	Mauritania	509	Dominican Republic
349	Morocco	512	El Salvador
350	Mauritius	515	French Territories/Colonies in Central America, n.e.s.
351	Mozambique	518	Guatemala
352	Namibia	519	Grenada
353	.	521	Haiti
354	Niger	522	Honduras
355	Nigeria	525	Jamaica
362	Rwanda	526	Montserrat
363	Zimbabwe (Rhodesia)	527	Nevis
365	Sao Tome and Principe	529	Nicaragua
367	Senegal	532	Panama
368	Sierra Leone	533	Puerto Rico (American)
369	Somalia	534	St. Lucia
370	South Africa	535	St. Vincent and the Grenadines
371	Sahara (Spanish)	536	Trinidad and Tobago
372	Sudan	537	St. Christopher and Nevis
374	Swaziland	539	U. S. Territories/Possession in Central America, n.e.s.
375	Tanzania	591	Cuba
376	Togo	598	Other Central American Countries
377	Tunisia		
378	Uganda		

600 Argentina	720 Kiribati
610 Bolivia	725 Maldives
611 Brazil	729 Nauru
620 Chile	730 Papua New Guinea
621 Colombia	731 New Zealand
630 Ecuador	733 New Caledonia
640 Guiana (French)	734 Vanuatu (New Hebrides)
650 Guyana	740 Solomon Island
660 Paraguay	744 Tahiti
661 Peru	745 Tonga
670 Surinam	747 Tuvalu
680 Uruguay	750 U.S. Territories/Possession in
690 Venezuela	Pacific Area, n.e.s.
698 Other South American Countries	755 Western Samoa
700 Australia	798 Other Australasian Countries
701 American Samoa	810 Other Countries
715 Fiji	

(出所) `noday@iders12:/ts/dat/tw/ctry $more trc_p2.out` にもとづき著者作成

付表 2.3 UN Comtrade Database 貿易データの国コード一覧表

<i>un.c</i> <i>i</i> ₃ <i>i</i> ₂ <i>desc.</i>	<i>un.c</i> <i>i</i> ₃ <i>i</i> ₂ <i>desc.</i>
000 WLD WL World	064 BTN BT Bhutan
004 AFG AF Afghanistan	068 BOL BO Bolivia
008 ALB AL Albania	070 BIH BA Bosnia Herzegovina
012 DZA DZ Algeria	072 BWA BW Botswana
020 AND AD Andorra	076 BRA BR Brazil
024 AGO AO Angola	080 . . British Antarctic
028 ATG AG Antigua and Barbuda	Territories
031 AZE AZ Azerbaijan	084 BLZ BZ Belize
032 ARG AR Argentina	086 IOT IO British Indian Ocean
036 AUS AU Australia	Territories
040 AUT AT Austria	090 SLB SB Solomon Islands
044 BHS BS Bahamas	092 VGB VG British Virgin Islands
048 BHR BH Bahrain	096 BRN BN Brunei Darussalam
050 BGD BD Bangladesh	100 BGR BG Bulgaria
051 ARM AM Armenia	104 MMR MM Myanmar
052 BRB BB Barbados	108 BDI BI Burundi
056 BEL BE Belgium	112 BLR BY Belarus
058 BEL BE Belgium-Luxembourg	116 KHM KH Cambodia
060 BMU BM Bermuda	120 CMR CM Cameroon

124 CAN CA Canada	Territories
129 . . Caribbean, not elsewhere specified	262 DJI DJ Djibouti
132 CPV CV Cape Verde	266 GAB GA Gabon
136 CYM KY Cayman Islands	268 GEO GE Georgia
140 CAF CF Central African Republic	270 GMB GM Gambia
144 LKA LK Sri Lanka	275 PSE PS Occupied Palestinian Territory
148 TCD TD Chad	276 DEU DE Germany
152 CHL CL Chile	278 DDR DD Former Democratic Republic of Germany
156 CHN CN China	280 DEU DE Former Federal Republic of Germany
162 CXR CX Christmas Islands	288 GHA GH Ghana
166 CCK CC Cocos Islands	290 . . Northern Africa, not elsewhere specified
170 COL CO Colombia	292 GIB GI Gibraltar
174 COM KM Comoros	296 KIR KI Kiribati
175 MYT YT Mayotte	300 GRC GR Greece
178 COG CG Congo	304 GRL GL Greenland
180 COD CD Democratic Republic of the Congo	308 GRD GD Grenada
184 COK CK Cook Islands	312 GLP GP Guadeloupe
188 CRI CR Costa Rica	320 GTM GT Guatemala
191 HRV HR Croatia	324 GIN GN Guinea
192 CUB CU Cuba	328 GUY GY Guyana
196 CYP CY Cyprus	332 HTI HT Haiti
200 CSK CS Czechoslovakia	340 HND HN Honduras
203 CZE CZ Czech Republic	344 HKG HK China, Hong Kong Special Administrative Region
204 BEN BJ Benin	348 HUN HU Hungary
208 DNK DK Denmark	352 ISL IS Iceland
212 DMA DM Dominica	356 IND IN India, excluding Sikkim
214 DOM DO Dominican Republic	360 IDN ID Indonesia
218 ECU EC Ecuador	364 IRN IR Iran
221 . . Eastern Europe, not elsewhere specified	368 IRQ IQ Iraq
222 SLV SV El Salvador	372 IRL IE Ireland
226 GNQ GQ Equatorial Guinea	376 ISR IL Israel
230 ETH ET Former Ethiopia	381 ITA IT Italy
231 ETH ET Ethiopia	384 CIV CI C?te d'Ivoire
232 ERI ER Eritrea	388 JAM JM Jamaica
233 EST EE Estonia	392 JPN JP Japan
234 FRO FO Faeroe Islands	398 KAZ KZ Kazakhstan
238 FLK FK Falkland Islands (Malvinas)	400 JOR JO Jordan
242 FJI FJ Fiji	404 KEN KE Kenya
246 FIN FI Finland	408 PRK KP Democratic People's Republic of Korea
251 FRA FR France, Monaco	410 KOR KR Republic of Korea
254 GUF GF French Guiana	
258 PYF PF French Polynesia	
260 ATF FQ French South Antarctic	

414 KWT KW Kuwait	specified
417 KGZ KG Kyrgyzstan	528 NLD NL Netherlands
418 LAO LA Lao People's Democratic Republic	530 ANT AN Netherlands Antilles
422 LBN LB Lebanon	532 ANT AN Netherlands Antilles and Aruba
426 LSO LS Lesotho	533 ARB AB Aruba
428 LVA LV Latvia	536 . . Neutral Zone
430 LBR LR Liberia	540 NCL NC New Caledonia
434 LBY LY Libya	548 VUT VU Vanuatu
440 LTU LT Lithuania	554 NZL NZ New Zealand
442 LUX LU Luxembourg	558 NIC NI Nicaragua
446 MAC MO China, Macao Special Administrative Region	562 NER NE Niger
450 MDG MG Madagascar	566 NGA NG Nigeria
454 MWI MW Malawi	568 . . Other Eurpe, not elsewhere specified
457 . . Sarawak	570 NIU NU Niue
458 MYS MY Malaysia	574 NFK NF Norfolk Islands
459 . . Peninsula Malaysia	577 . . Other Africa, not elsewhere specified
461 . . Sabah	579 NOR NO Norway, Svalbard and Jan Mayen
462 MDV MV Maldives	580 MNP MP Northern Mariana Islands
466 MLI ML Mali	582 PCI PC Former Pacific Islands
470 MLT MT Malta	583 FSM FM Federated State of Micronesia
471 . . CACM, not elsewhere specified	584 MHL MH Marshall Islands
472 . . Africa CAMEU region, not elsewhere specified	585 PLW PW Palau
473 . . LAIA, not elsewhere specified	586 PAK PK Pakistan
474 MTQ MQ Martinique	588 PAK PK East and West Pakistan
478 MRT MR Mauritania	590 PAN PA Former Panama, excluding Canal Zone
480 MUS MU Mauritius	591 PAN PA Panama
484 MEX MX Mexico	592 PCZ PZ Former Panama-Canal-Zone
490 . . Asia Other, not elsewhere specified	598 PNG PG Papua New Guinea
492 . . Europe EU, not elsewhere specified	600 PRY PY Paraguay
496 MNG MN Mongolia	604 PER PE Peru
498 MDA MD Republic of Moldova	608 PHL PH Philippines
500 MSR MS Montserrat	612 PCN PN Pitcairn
504 MAR MA Morocco	616 POL PL Poland
508 MOZ MZ Mozambique	620 PRT PT Portugal
512 OMN OM Oman	624 GNB GW Guinea-Bissau
516 NAM NA Namibia	626 TMP TP Timor-Leste
520 NRU NR Nauru	634 QAT QA Qatar
524 NPL NP Nepal	636 Rest of America, not elsewhere specified
527 . . Oceania, not elsewhere	638 REU RE Reunion

642	ROM	RO	Romania	780	TTO	TT	Trinidad and Tobago
643	RUS	RU	Russian Federation	784	ARE	AE	United Arab Emirates
646	RWA	RW	Rwanda	788	TUN	TN	Tunisia
647	.	.	Ryukyu Island	792	TUR	TR	Turkey
654	SHN	SH	Saint Helena	795	TKM	TM	Turkmenistan
658	KNA	KN	Saint Kitts, Nevis and Anguilla	796	TCA	TC	Turks and Caicos Islands
659	KNA	KN	Saint Kitts and Nevis	798	TUV	TV	Tuvalu
660	AIA	AI	Anguilla	800	UGA	UG	Uganda
662	LCA	LC	Saint Lucia	804	UKR	UA	Ukraine
666	SPM	PM	Saint Pierre and Miquelon	807	MKD	MK	The Former Yugoslav Republic of Macedonia
670	VCT	VC	Saint Vincent and the Grenadines	810	SUN	SU	Former USSR
678	STP	ST	Sao Tome and Principe	818	EGY	EG	Egypt
682	SAU	SA	Saudi Arabia	826	GBR	GB	United Kingdom
686	SEN	SN	Senegal	834	TZA	TZ	United Republic of Tanzania
690	SYC	SC	Seychelles	835	.	.	Former Tanganyika
694	SLE	SL	Sierra Leone	836	.	.	Former Zanzibar and Pemba Island
697	.	.	Europe EFTA, not elsewhere specified	837	.	.	Bunkers
698	.	.	Sikkim	838	.	.	Free Zones
699	IND	IN	India	839	.	.	Special Categories
702	SGP	SG	Singapore	841	USA	US	USA and Puerto Rico
703	SVK	SK	Slovakia	842	USA	US	USA, Puerto Rico and US Virgin Islands
704	VNM	VN	Viet Nam	849	.	.	US Miscellaneous Pacific Islands
705	SVN	SI	Slovenia	850	VIR	VI	US Virgin Islands
706	SOM	SO	Somalia	854	BFA	BF	Burkina Faso
710	ZAF	ZA	South Africa	858	URY	UY	Uruguay
711	ZAF	ZA	Southern African Customs Union	860	UZB	UZ	Uzbekistan
716	ZWE	ZW	Zimbabwe	862	VEN	VE	Venezuela
717	.	.	Former Rhodesia Nyas	866	VDR	VD	Former Democratic Republic of Vietnam
720	YMD	YD	Former Democratic Yemen	868	VNM	VN	Former Republic of Vietnam
724	ESP	ES	Spain	876	WLF	WF	Wallis and Futuna Islands
732	ESH	EH	Western Sahara	879	.	.	Western Asia, not elsewhere specified
736	SDN	SD	Sudan	882	WSM	WS	Samoa
740	SUR	SR	Suriname	886	YEM	YE	Former Arab Republic of Yemen
748	SWZ	SZ	Swaziland	887	YEM	YE	Yemen
752	SWE	SE	Sweden	890	YUG	YU	Former Yugoslavia
757	CHE	CH	Switzerland, Liechtenstein	891	YUG	YU	Serbia and Montenegro
760	SYR	SY	Syria	894	ZMB	ZM	Zambia
762	TJK	TJ	Tajikistan	899	.	.	Areas, not elsewhere specified
764	THA	TH	Thailand				
768	TGO	TG	Togo				
772	TKL	TK	Tokelau				
776	TON	TO	Tonga				

(出所) noday@iders12:/ts/mst/ctry/c/un. 2004 にもとづき著者作成

(注) i_3 i_2 はそれぞれ ISO の 3 桁レベルと 2 桁レベルの国コードを表わしている。ISO の存在しない国・地域は. で表わしている。